



荒川中だより

青い雲

教育目標 「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

令和6年度 第9号
令和7年1月10日発行
村上市立荒川中学校

新しい年を迎えて ～優秀教職員表彰の受賞報告～

校長 西村 諭

希望に満ちた令和7年がスタートしました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年の干支は「乙巳（きのとみ）」です。乙は草木がしなやかに伸び、横へと広がる意味をもちます。また、巳は神様の使いとされる動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルです。そのため乙巳の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」となるといわれています。生徒の皆さんにとって、「主体的に行動し、新たな挑戦に向けた一歩を踏み出す年」であってほしいと願います。

さて、報道等でご存じの方もおられると思いますが、当校は令和6年度の新潟県優秀教職員表彰、並びに文部科学大臣優秀教職員表彰の被表彰者となりました。前述は学校教育における教育実践等に顕著な成果をあげた教職員及び教職員組織に対して県教育委員会が、後述は文部科学省が審査を行って決定したものです。

受賞となった事由は、『地域貢献活動「あらかわチャレンジ」による地域との連携・協働』です。「あらかわチャレンジ」は、荒川地区のありたい未来のために、生徒が地域と連携・協働しながら、SDGsを視点とした様々な課題にチャレンジする活動であり、総合的な学習の時間に行っています。今年度は、「特産品を使ったメニューの開発」「地域の美化活動」「フードドライブ」「イルミネーションによるまちづくり」「教育に関する調査やイベント」等の活動を行いました。



『地域の方との触れ合い』

産(荒川商工会)、官(荒川支所)、学(荒川中)が連携した取組であり、生徒の地域貢献の心や郷土愛が育まれる当校の特色ある教育活動です。本賞は教職員を対象としたものですが、長年に渡り生徒の活動を支えていただいた地域の皆様の御理解と御協力の賜物と深く感謝しております。皆様と共に受賞を喜びたいと存じます。今後も、ふるさと荒川を愛する生徒の育成に努めて参ります。引き続きよろしくお願いたします。

<あらかわチャレンジの概略>

- H30年度 3年生が、SDGsの考えを取り入れた地域貢献活動を開始
- R 2年度 産(荒川商工会)、官(荒川支所)、学(荒川中)が連携した取組を開始
- R 3年度 取組発展のため、あらかわ地区まちづくり協議会内に事務局設置
「あらかわチャレンジ」事業を開始
- R4,5年度 SDGsの視点に立ち、地域と連携・協働して事業を継続・発展
- R 6年度 環境省が進めるデコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）に参加